

◆謹賀新年 日本共産党は、1世紀の歴史に学び、新たな1世紀に向かいます。戦争させない くらしに希望を

休日当番病・医院

1月14日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 同樹会苦小牧病院 新中野町 36-1221
- ◆歯科 くまざわ歯科医院 美原町 61-7711

診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本紙は毎週火曜日に編集のため、その後に休日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。ご利用されるときには、あらかじめ電話でお確かめください。



法律相談



1月26日(金)
笹森 学弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込 56-5002

しんぶん赤旗読者のための

日本共産党 民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話 56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
苦小牧市議団ホームページ <http://toma-jcp.sakura.ne.jp/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

立野氏と苦小牧市議団が新年宣伝 能登地震支援訴える



国連総会で、ガザの「即時の人道の停戦を求める決議」が米国など10カ国が反対したなか、日本を含めた153カ国の賛成多数で採択されました。「日本が賛成に回ったのは国民の声を押しつけたものです。ただアメリカ言いなり政治に変わりはありません」と強調。憲法9条を生かした外交力を発揮して世界平和に貢献することを訴えました。

小野寺団長らは、日本共産党が発表した「経済再生プラン」の実現で希望ある日本をつくることを訴え、自民党の裏金問題を批判。「世論の力で解散総選挙に追い込み、自民党に審判を下しましょう」「子ども医療費助成制度の対象が8月から高校生まで拡大されます。次は学校給食の無償化をめざしてがんばります」と強調しました。

立野氏は、雨と冷たい風が吹き抜けるなか、12カ所で行った。「自民党のパーティーやめさせろ」と話しかけられ、また各所で救援募金が寄せられました。

救援募金訴え、岸田政治を批判

紙・畠山氏ら新年挨拶 企業献金やめさせよう



日本共産党の紙智子参院議員と畠山和也元衆院議員らは4日、札幌駅前前で仕事始めの宣伝を行い、新年早々に起きた能登半島地震への救援募金を呼びかけました。

「大変な事態に心が痛む」「寒い時期に避難所での生活は大変ですよ」「東日本大震災を思い出しました」「少しでも現地のために何かしたい」と、引き返して募金をひいていく親子や、小銭入れをひっくり返して中身を全て預けた。

人、宣伝の様子を撮影して、いく若い人の姿もありました。

紙議員は、「多くの家が倒壊し、今こうしている間にも生き埋めとなり、救助を待っている人がいます」と訴え。避難所での救援物資も行き届いていない実態があるとし、少しでも早く元の生活に戻せるよう現地への募金で気持ちの寄せてほしいと呼びかけました。

畠山氏は、日本共産党は「国民の苦難軽減」が立憲の精神と示し、全国各地で救援募金を呼びかけていること、1日にはすぐさま災害対策本部を立ち上げ、状況を聞き、被災者のニーズを捉えた活動を行っていること紹介。人命最優先の対応を政府へ求めていくとともに、自然災害の多い国で税金は暮らし優先と、防災をしっかりと位置づける必要性を訴えました。

ほんの紹介

◆あなたと学ぶジェンダー平等 坂井希希(新日本出版社) 1760円(税込) 男女賃金格差、夫婦同姓の強制など日本のジェンダー不平等等は、明治期につくられた差別が原因だった！日本共産党の自己改革も綴り、ジェンダー平等やLGBTQの権利を守るための政策を、歴史と世界に学んで提示。誰もが自分らしく生きられる社会へ。

マイナカード強制になる健康保険証の廃止強行抗議 日本共産党



市民裏切る犯罪行為そのもの

原市議 介護委託事業者の過剰請求追及



も契約額になるよう請求するとの考えが定着して、不正を実行するためのマニュアルまで作成され、組織として不正に取り組む仕組みができていました。

福祉部長は、「長年にわたる市民の税金が不正に使われてきたことは痛恨の極みであり、本市としても看過できない事案である」とのべました。

原議員は、「過去5年にわたり不正が行われているが、契約初年度については資料がないとはいえず、不正が既に行われている可能性が高く、返還を求めるべきではないか」と迫りました。福祉部長は、「初年度についても過去5年間の不正請求の割合から算出し、返納を求めていきたい」との考えを示しました。

原議員は、「道と苦小牧市で類似の事業が同一の事業者によって行われており、両者への費用請求額は、1円単位まで一致している。道と本市の相互点検が機能していれば防げたのではないかと、なぜ6年間も見抜けなかったのか」とたどりました。

福祉部長は、「記録の作成や請求書の整理など意図的に不正が行われており、検査時に発見することは困難だった。今後は、受託者への牽制機能を働かせながら、適正な業務の執行に努めていきたい」と答弁。不正の悪質性から、刑事告訴すべきではないかという指摘には、顧問弁護士や北海道など関係機関と協議していると答えました。

原議員は、この間の放課後児童クラブの虚偽報告、今回

「能登半島地震災害救援募金」への「協力をお願いします」

ラピダス事業で苦小牧セミナー

19日 道主催 環境に係るテーマなし

北海道は、千歳市に進出する次世代半導体製造「ラピダス」の事業などをテーマにして、全道各地で道民の理解を深めるための説明会を実施しています。苦小牧でも今月19日に苦小牧経済センタービルで開催されます。

説明会の開催時刻が平日の15時からで、「これでは仕事を休まないと参加できない」との声もでており、参加人数は申し込み先着順で100人です。質問は事前に求められその全てに回答が行われるのではなく、多数の人から寄せられた質問に対してだけ回答するといふものです。

講師はラピダスの清水専務ら3人が予定され、「次世代半導体プロジェクトについて」「半導体の今と未来について」「半導体で地域がどう変わるのか」の3テーマで講演が行われますが、1テーマの予定時間は25分間です。半導体事業の展開が抱える課題を扱ったテーマはありません。

「むしろ自然環境への対策や地域とともに歩む姿勢を示し、広く道民の意見に耳を傾けることで企業の付加価値を高め、国際市場のなかで高い評価を受ける企業に成長すべきです。この企業はそうした姿勢をもっているのか疑問が生まれてしまう説明会の持ち方となっているのは残念だ」という意見が出ています。

道内での説明会は、北見、旭川、釧路の3会場で行われた後に苦小牧での開催です。苦小牧地域はラピダスの進出で自然環境や雇用問題などさまざまな側面から最も影響を受ける地域の一つです。



あたたかい連帯を
いまこそ

国会かけある記 はたやま和也

能登半島での大地震、羽田空港での接触事故と、心が落ち着かない年明けとなりました。亡くなられた方々へ心から哀悼の意を表し、被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げます。

私の友人も富山県への移動中に被災しました。避難所においても次々と襲ってくる余震に、心身ともに本当につらかったと言います。家族や家を失い、先を見通せない方々が、多くいます。町の復興には、長い時間がかかりそうです。日本共産党は、救援募金を呼びかけていますので、ご協力をよろしく願います。

民青同盟北海道委員会が
自民党政治を続けて、日本や北海道の明るい未来が見えるでしょうか。くらしや地域、平和・人権・環境を何より大事にする政治へ、日本共産党がいまこそ前へと出ていく時。私も先頭にたつてがんばりたい。

島山和也（はたやま・かずや）日本共産党元衆議院議員



札幌市白石神社前で新年挨拶（1日）